



危険な水路の安全対策を実施

水路において幼い命が失われた出来事を受け、市内の全ての幹線水路を緊急点検した結果を踏まえ、フェンスや注意看板の設置などの安全対策を実施します。

■ 事業名

幹線用排水路改修事業

(注) 本事業は目的別に補正予算額を分けて説明しています。(議案説明資料No.18 参照)

■ 目的

(1) 経緯

令和4年5月30日、行方不明の子どもが水路内で発見され、尊い命が失われました。

これを受け、水路の危険箇所を把握し安全対策を講じるため、同年6月1日から同月17日まで、市内全ての幹線水路及び通学路を対象とした水路緊急安全点検を実施しました。

(2) 趣旨

水路緊急安全点検の結果、日常的に容易に立入ることができる水路等の危険箇所が確認されたため、緊急にフェンスや柵及び注意喚起の標識等の設置を行うものです。

■ 水路緊急安全点検の概要

実施期間	令和4年6月1日～17日
実施主体	水路管理者(加須市)、学校関係者
点検対象	市管理の幹線用排水路(全203路線)、小・中学校通学路
点検項目	道路等から水路への立入りの容易性、柵の無い水路と道路の並行、柵の状況(隙間、施錠、破損)など
点検箇所	498箇所(土地改良区管理の水路について報告のあった2箇所を含む。)うち11箇所には、緊急対応として直営による簡易なフェンス補修等を実施
評点数化	点検項目により確認された危険性・通学路の指定状況・要望状況を評価して点数化

■ 補正予算の概要

(1) 安全対策の実施方針

○点検箇所のうち評点数の高い112箇所に安全対策を実施します。

○昨今の建築用資材の調達状況等を考慮し、工期を1期(60箇所)と2期(52箇所)に分け、危険性が高い箇所を優先して着手します。

(2) 工事内容

○転落防止のフェンス、ガードレール、ガードパイプ等の設置

○注意看板の設置 など

(3) 工期・補正予算額

	工期	工事箇所	補正予算額
第1期	令和4年度中に実施	60箇所	99,060千円
第2期	令和5年度早期に実施	52箇所	今後提案予定

■ 補正予算額 99,060千円